

県立生命の星・地球博物館友の会 2026 総会講演会
—酒井恒博士 没後40年—

博物館のお宝「酒井コレクション」と カニ博士酒井恒氏の研究生生活

酒井コレクションとは、カニ博士として知られる酒井恒博士（元横浜国立大学教授）が研究のために収集し、当館に寄贈されたものです。標本のほかに標本を精密に描いた原色細密画と文献類があります。今回は博物館のお宝、酒井コレクションについて佐藤さんから、酒井博士の弟子である一寸木さんに博士の研究生生活について、没後40年にあたり、お話をいただきます。



シモダノコギリガニ：酒井コレクション細密画 出典：
https://nh.kanagawa-museum.jp/sizen/n91/top_menu.cgi#

日時 2026年4月26日(日) 14時45分～16時45分
場所 県立生命の星・地球博物館 星槎ミュージアムシアター
定員 当日先着200名（友の会会員以外の方でもご参加いただけます）
参加費 無料

プログラム

- | | | |
|-----------------|--------------|-------|
| 1 「酒井コレクション」の魅力 | 生命の星・地球博物館館長 | 佐藤武宏氏 |
| 2 酒井恒氏の研究生生活 | 大井町立大井自然園 | 一寸木肇氏 |
| 3 質疑応答 | | |

酒井恒博士のエピソード：昭和天皇の御学友 横浜国立大学附属図書館 HP より

昭和27年（1952年）11月8日、生物学御研究所で「相模湾産カニ類の特殊性」について約1時間にわたって行った御進講が御縁となり、その後相模湾の海洋生物研究の相談役また御学友として昭和天皇の御採集・御研究の傍らに酒井博士の姿がありました。博士逝去のおり、昭和天皇は御製の中で、亡くなった博士への想いを「船にのりて相模の海にともにいでし 君去りゆきぬゆふべはさびし」と詠っています。